

茨木高校野球部

OB会報

発行

大阪府立茨木高校

野球部OB会

幸せな野球人生

田中伸一
(高15回)



昭和三十年頃(小学四年生)あの当時の少年の多くがそうであった様に私も野球少年の一人でした。

学校が終わると田んぼや空地でソフトボールやキャッチボールをし暗くなる迄遊んでおりました。相手のない時は一人で壁当てをしてボール遊びに夢中になっていました。私の家が茨高のグラウンドのすぐ近くにあり、小さい頃から野球部の練習とか試合をよく見ていて高学年になると当時の選手の人とも練習後に話をして貰ったり、硬球でキャッチボールのまね事までもして戴きました。その頃

には野球部のファンになっていました。素手で野球をしていた時代の子供にとつて、野球部は憧れでした。いつも練習の終わりの「フレーフレー三高(茨高)」の声を聞いて話をして貰ってから家に帰る様な日々でした。今でもOB名簿で高校五回から十二回位の先輩方の御名前を見ると子供の頃の思い出とダブって胸がキュンとなつてしまいます。特に大西さんや平井さんにはよく遊んでもらった記憶があります。そしてその頃より米沢先輩の御名前も御顔も存じており、後年自分が茨高の選手になり、米沢先輩を始め子供の頃より見知っておりました方々に直接指導してもらったり、ノックをしてもらったり、バッティング投手迄もして戴いた時の緊張感は大変なものでした。

そんな訳で中学の高学年になった頃には自分は「ここで野球をするのが当然」の様な気になつていて中学の野球部にも入らずに学校から帰るとすぐグラランドに行き、ボールキーパーをさせて貰っていました。練習試合のある時は特に楽しみで土手に座つて応援しておりました。確か三十四年の夏の大会は楠さん近藤さんバッテリーで、藤井寺での大阪高校との試合が見たくてお金も無く行き方も判らぬまま自転車で梅田まで行き、道を聞いて結局諦めて引き返した事もついでこの間の様な気がします。

そして念願が叶い昭和三十五年に野球部の一員になれる事が出来合格発表の日にユニホーム、グラブ、スパイクを買つて貰いその足で練習に参加させて戴きいただきました。キーパー専門の自分が初めて内外野に入つて硬球を追つた時の感激は忘れられません。それがその後のしんどくて辛くて楽しかつた三年間の始まりでした。

一年生時代の一日中のバッティングキャッチャーや、雨の日の階段登りやうさぎ跳びはしんどい練習でした。暑い夏の日ボールを探しに行き、帽子ですくつて飲んだ茨木川の水の美味かつた事、練習後8人の一年生でいつも話すことは「俺達が三年になれば絶対強くなるうナ。」という夢でした。その年は岸和田産業に一回戦で破れ、新チームになり二年生が少なかった事もあり秋から試合に出る事が出来ました。初の試合で初回の初球をライト前にヒットした時の手の感触は今も覚えております。縫つてはいても裏皮の様なボールやブカブカのボールや重いボールが多かつたのでその時は「ユニボールつてこんな軽い感じじゃ飛ぶのか。」と思いました。

二年生の夏は、私のトンネルで負け、三年の夏は好投手稲坂が居たものの二回戦で敗けて自分の高校野球は終わつてしまいました。卒業してからも練習を手伝つたりしている内にあるう事が監督の大役迄させて戴きまして、その後四十年から四十二年迄の三年間続けさせて戴きましたが、指導力も技術も無く毎日バッティング投手とノックをするだけの頼りない監督で当時の選手達には申し訳無く思つております。

ただ茨高の野球を思う気持ちは誰よりも持つていたつもりでやっています。その時の経験が今でも私の糧になつております。私は今年五十三才になりますが草野球の投手として今も投げています。毎日の遠投と投球練習も続けています。これ迄何度も大病をしてその度に諦めかけては又野球を続け

て来ました。一昨年の夏に心臓発作で倒れ「もうアカン。」と思つていましたが、昨年の春よりは又投手として試合に出ております。野球をやりたい一心が身体と心を支えてくれているのでしょうか。今でも野球が出来るのも昔鍛えて下さつた先輩方のお陰だと思つて

います。

最後に夢を一つ、茨高に新しいグラランドが完成したら大OB野球大会をやりたいものです。老いも若きも同じOBのユニホームを着て軟式でもいいからエンドレスで交代で野球をし、その後は思い切り昔話や野球の話で一日を過ごせたらと思つています。今年も夏の大会が近づいて来ました。この苦しい状態で部を守り続けてこられた監督さんや選手、OBに心から感謝します。

有難うございました。

現役大会前激励会

- (1) 日時 6月21日(土) 午後6時より
- (2) 場所 茨木高校久敬会館